

歯を失う原因の
第1位!



歯周病 は 全身の健康に 影響します

狭心症・
心筋梗塞



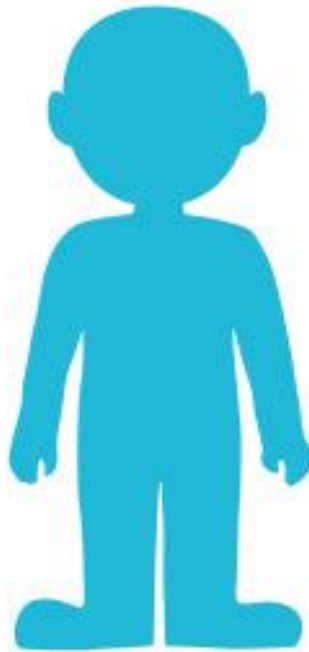
慢性肺炎



糖尿病



動脈硬化



アルツハイマー
型認知症



肥満



低体重児出産
・早産

6月4日~10日は
歯と口の健康週間

歯や口腔について
お悩みお気軽にご相談ください



6月4日~10日は
歯と口の健康週間

当店のおすすめ!



キョーレオピン

★虫歯や歯周病は、全身の組織や臓器に影響するといわれています



慶應義塾大学医学部内科学教授 伊藤 裕先生 日本臨牀 61, 1842-1843, 2003

★気づかないうちに進行している病気やオーラルフレイルは生活習慣から…対策はお早めに!



シトリーヌα

★効能・効果に「歯ぐきからの出血予防」

●効能・効果

- 次の諸症状の緩和：しみ、そばかす、日焼け・かぶれによる色素沈着
- 次の場合の出血予防：歯ぐきからの出血、鼻出血
「ただし、これらの症状について、1カ月ほど服用しても改善がみられない場合は、医師、薬剤師又は歯科医師に相談して下さい。」
- 次の場合のビタミンCの補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時、老年期

●3つの成分が効果を発揮

- ビタミンC：メラニン色素の生成を抑制します。メラニンの淡色化を促します。
- レスチン：皮膚の新陳代謝を促進し、メラニンの排泄を促します。
- 天然ビタミンE：末梢血行を促進し、メラニンの排泄を促します。

★さらに夏に嬉しいしみ・そばかす・日焼けやかぶれによる色素沈着にも効果を発揮!

些細なことでも、
お気軽に
ご相談ください!



6月4日から6月10日までは

歯と口の健康週間です



歯と口の健康を保つことは、一生涯自分の歯でかんでおいしい食事を楽しむためだけでなく、バランスのとれた食生活を送ることを可能にし、糖尿病などの生活習慣病の予防など、全身の健康にも影響する大切なことです。

歯を見せて笑える今を 未来にも



- 8020運動を進めよう
(80歳になっても、20本の歯を保とう)
- 一生自分の歯で食べよう
- 歯みがきで心と体を健やかに

歯と口の健康週間 令和6年6月4日~10日 主催:厚生労働省・文部科学省・日本歯科医師会・都道府県歯科医師会・日本学校歯科協会 後援:日本歯機工業会・全日本プラスチック工業協同組合・日本歯科衛生士会